鳩ケ谷分校だより

9月 September

埼玉県立川口特別支援学校鳩ケ谷分校　　No.5

始業式にて

校長　山口　伸一郎

9月1日（月）二学期始業式、「80」と「41.8」について、お話ししました。この二つの数字を示しただけで、「ああ、あの話だな」とうなずいている人が何人もいました。

「41.8」は、夏休み中の8／5（水）に、埼玉県のとなり、群馬県伊勢崎市で日本の過去最高となる41.8℃を記録したことについての話です。今年のたいへんな猛暑と各自の健康管理についてお話ししました。

「80」は、「この夏、戦後80年だった」ことについてお話ししました。私は1963（昭和38）年生まれで、戦争の実体験はありません。ただ、同居している私の母（89歳）は1938（昭和11）年生まれで、終戦の年、1945（昭和20）年には国民学校（今の小学校）の4年生でした。もともとは都内に住んでいましたが、戦況が悪化し都市部への空襲がひどくなったため、親元を離れて、親族がいる福岡県南部に疎開しました。しかし、そちらにも米軍機は飛来し、ある日、学校帰り、母と友だちは米軍の戦闘機に機銃掃射されました。道脇の麦畑に隠れ、助かったそうです。子どもだとわかっていても撃ってくる、それが戦争なのだとその話を聞くたびに思います。

聴いている皆さんの中には「学童疎開」や「B29」等の言葉を知っている人もいました。学びは学校の中だけで完結するものではありません。昔のこと、未来のこと、他国のことにも、さらに関心をもち、思いを広げていってください。

部活動　活動報告

文化部

夏のひととき

7月30日、劇団四季の「ライオンキング」を観劇しました。アニメーション作品は視聴したことがあっても、舞台を観るのは初めてという生徒が多かったようです。座席は2階の最後部でしたが、ステージから離れていてもキャストの演技や歌唱、舞台セットなど見どころが満載で、3時間を超える公演に引き込まれていました。鑑賞後に興奮しながら感想を語り合う姿が見られました。

8月26日と27日の2日間に分けて、サンドブラスト製作体験を実施しました。26日は分校でデザインの作成とシールの切り取り作業に取り組み、27　日は工房に伺い、シール貼りやサンドブラスターを使ってグラスに模様を刻む作業を体験しました。完成したグラスを手にした瞬間、生徒たちの表情には達成感と喜びがあふれていました。

活動を通して世の中へ視野が広がっていくこと、その活動で生まれた感情や気持ちを大切にし、人間性が磨かれていくことを切に願っています。今後とも、生徒へのご支援と文化部部活動へのご理解をよろしくお願いいたします。

（文化部顧問　杉田）

運動部

目標に向かって

夏休み中は、バスケットボールの練習試合や大会があり、そこに照準をあてて取り組みました。昨年度、特体連の本大会では男女ともに3位になり、鳩ケ谷分校としては、大きな躍進を遂げるとともに、新たな目標を掲げるきっかけにもなりました。 ― 優勝 ― これは生徒たちが決めた目標です。もちろん昨年度の3位という順位があってこその目標ではありますが、簡単な物ではありません。そのために、課題に挙げたのが、①オフェンス力の向上 ②シュート確率のアップ ③得点パターンを増やす の3つです。特に②は大きな成長が見られる選手がおり、その得点力が確実にチームに力を与え、その成果を交流大会（久喜）で見ることができました。監督冥利につきるところです。

保護者の皆様、日ごろから選手のサポートや大会の応援等いつもありがとうございます。選手には「一生懸命プレーすることが恩返し」と伝えています。今後も応援よろしくお願いいたします。　（運動部顧問　大森）